

■帰宅ラッシュを低減しよう

今回、特に会場にアクセスするメインの交通機関であるりんかい線やゆりかもめの車中や駅構内も、かなり暑いことが予想される（とすると会場内よりも暑いかもしれない）。開場前はまだ気温がそれほど高くないのでまだしも、帰宅時はそもそもの気温が高い上に、疲労によって体力が低下している。そういった状態で暑い交通機関に乗ることで気分が悪くなったり、最悪倒れてしまう、といった事態もありうる。

そういった事態を避けるためには、以下のような対処方法が考えられる。

朝の来場のための混雑はまだしも、少なくとも閉会後の混雑は回避することができる。積極的に回避して無為な体力の消耗を防ぐと共に、帰宅ラッシュを分散しよう。

①帰宅するまでを見込んで十分に体力を残しておく

閉会と同時に疲れがどっと襲ってこないように、会期中・行動中からエネルギー源となる食べ物や飲み物をきちんと摂り、暑さや日焼けで余計な体力を消耗しないように着るものや対策を講じ、荷物をコンパクトにまとめるよう工夫する。しっかりした靴を履く。交通機関内では開けられるようなら窓を開けて空気の通りを少しでも良くする（ただし路線バスは窓を開けることで排気ガスなどが入ってきてかえって気分が悪くなる乗客が出ることも考えられるので混雑具合や道路の混み具合などを一考しよう）。

②交通機関の混雑が始まるより早く会場を撤収する。

体力に自信のない参加者、未成年やビギナー参加者に推奨。
コミケットの閉会時間は16:00だが、概ね15:00を過ぎると交通機関では帰宅のための大混雑が始まる。特に未明や早朝から来場している参加者や複数日程にわたって参加を予定している参加者は、そのラッシュが始まるより早く会場を出るようにしてさらに余計な体力の消耗を防ぐのが賢明だ。

③混雑が一段落するまで、食事やお茶を楽しんでから帰宅する。

社会人など、お金や時間に余裕のある参加者向けの方法だ。
ビッグサイトの周辺には徒歩圏内でもそれなりの数の飲食店があるので、そういった所で休憩とエネルギー補給を済ませ、ちょうど混雑が緩和された頃の時間にゆっくり帰れば一石二鳥というわけだ。

ただし、飲食店はコミケット参加者以外も利用する場所なので、店内で同人誌を取り出したり、あまり長時間座席を占有したり、あまつさえ店舗に入ることもせずに商業施設の公共部分に座り込むような行為は厳に謹まなくてはならない。



■機能から装備を考える■

『節電の影響もあって全体的に暑いなら薄着で行こう』と考えるのは考え方としては自然な流れだが、残念ながらコミケットの環境や、今回発生し得るかもしれない様々な状況に対するにはそれだけでは不十分と言わざるを得ない。

会場内で過ごす時間も含め、突発的な事態に対する備えも必要とされる中では、気温以外の要素にも対応できるウェア選択が必須になってくるのだ。過酷な環境下では何をどう着るかによっても、消耗する体力に大きな差が出てくる。日常ではあまり着る物に頓着しない人も、コミケットという特別な場では、体力を維持するためにも的確に選択しよう。それが結果的に、アナタの戦果をより実りの多い物にするかもしれない。

■レイヤー化で機能を維持

『レイヤー』と言っても当然コスプレイヤーのことではない。画像加工ソフトなどを使う人にはおなじみ、『層』のことだ。ほぼ丸1日という長い時間、それも時に強い日差し、時に雨、時にぎゅうぎゅう詰めの混雑といった過酷な環境に加え、例え濡れたりしてしまっても簡単に着替えることも難しいコミケットでは衣服に求められる機能は数あるが、なかなかそれを1枚の生地ですることは困難である。そのために、何枚かの衣服を組み合わせることで様々な状況に対応しようという考え方だ。

実際、単純な薄着が涼しく感じられるのは直射日光が当たらず、かつ風通しが良いといった限られた条件下だけなのだが、何枚かの性質の異なる衣服を重ねることで、そういった条件を擬似的に作りだそうというものだと考えてほしい。

■帰宅ラッシュを低減しよう

今回、特に会場にアクセスするメインの交通機関であるりんかい線やゆりかもめの車中や駅構内も、かなり暑いことが予想される（ともすると会場内よりも暑いかもしれない）。開場前はまだ気温がそれほど高くないのでまだしも、帰宅時はそそこの気温が高い上に、疲労によって体力が低下している。そういった状態で混んで暑い交通機関に乗ることで気分が悪くなったり、最悪倒れてしまう、といった事態もありうる。

そういった事態を避けるためには、以下のような対処方法が考えられる。

朝の来場のための混雑はまだしも、少なくとも閉会後の混雑は回避することができる。積極的に回避して無為な体力の消耗を防ぐと共に、帰宅ラッシュを分散しよう。

①帰宅するまでを見込んで十分に体力を残しておく

閉会と同時に疲れがどっと襲ってこないように、会期中・行動中からエネルギー源となる食べ物や飲み物をきちんと摂り、暑さや日焼けで余計な体力を消耗しないように着るものや対策を講じ、荷物をコンパクトにまとめるよう工夫する。しっかりした靴を履く。交通機関内では開けられるような窓を開けて空気の通りを少しでも良くする（ただし路線バスは窓を開けることで排気ガスなどが入ってきてかえって気分が悪くなる乗客が出ることも考えられるので混雑具合や道路の混み具合などを一考しよう）。

②交通機関の混雑が始まるより早く会場を撤収する。

体力に自信のない参加者、未成年やビギナー参加者に推奨。
コミケットの閉会時間は16:00だが、概ね15:00を過ぎると交通機関では帰宅のための大混雑が始まる。特に未明や早朝から来場している参加者や複数日程にわたって参加を予定している参加者は、そのラッシュが始まるより早く会場を出るようにしてさらに余計な体力の消耗を防ぐのが賢明だ。

③混雑が一段落するまで、食事やお茶を楽しんでから帰宅する。

社会人など、お金や時間に余裕のある参加者向けの方法だ。
ビッグサイトの周辺には徒歩圏内でもそれなりの数の飲食店があるので、そういった所で休憩とエネルギー補給を済ませ、ちょうど混雑が緩和された頃の時間にゆっくり帰れば一石二鳥というわけだ。

ただし、飲食店はコミケット参加者以外も利用する場所なので、店内で同人誌を取り出したり、あまり長時間座席を占有したり、あまつさえ店舗に入ることさえせずに商業施設の公共部分に座り込むような行為は厳に謹まなくてはならない。



——■機能から装備を考える■——

『節電の影響もあって全体的に暑いなら薄着で行こう』と考えるのは考え方としては自然な流れだが、残念ながらコミケットの環境や、今回発生し得るかもしれない様々な状況に対するにはそれだけでは不十分と言わざるを得ない。

会場内で過ごす時間も含め、突発的な事態に対する備えも必要とされる中では、気温以外の要素にも対応できるウェア選択が必須になってくるのだ。過酷な環境下では何をどう着るかによっても、消耗する体力に大きな差が出てくる。日常ではあまり着る物に頓着しない人も、コミケットという特別な場では、体力を維持するためにも的確に選択しよう。それが結果的に、アナタの戦果をより実りの多い物にするかもしれない。

■レイヤー化で機能を維持

『レイヤー』と言っても当然コスプレイヤーのことではない。画像加工ソフトなどを使う人にはおなじみ、『層』のことだ。ほぼ丸1日という長い時間、それも時に強い日差し、時に雨、時にぎゅうぎゅう詰めの混雑といった過酷な環境に加え、例え濡れたりしてしまっても簡単に着替えることも難しいコミケットでは衣服に求められる機能は数あるが、なかなかそれを1枚の生地で賄うことは困難である。そのために、何枚かの衣服を組み合わせてすることで様々な状況に対応しようという考え方だ。

実際、単純な薄着が涼しく感じられるのは直射日光が当たらず、かつ風通しが良いといった限られた条件下だけなのだが、何枚かの性質の異なる衣服を重ねることで、そういった条件を擬似的に作りだそうというものだと考えてほしい。